



テーマ

Theme

命の大切さについて考えよう
～がんについて学ぶ～

学校・園名

School name

草津市立市南笠東小学校

講師等

Lecturer etc.

公益財団法人滋賀県健康づくり財団

実施日

Date

2017年11月22日

教科等

Subject etc.

学活

授業
Class

草津市立南笠東小学校において公益財団法人滋賀県健康づくり財団との連携授業が実施されました。がんについての正しい知識を理解し、命の大切さについて考える授業でした。長年がん教育に携わっておられる医師が、講師を務められました。

授業では、がんは、①どんな病気なの？②どうしてなるの？③なおるの？④予防できるの？という4つの項目にわけて話が進められました。

児童たちは、タバコを吸ったり、他の人が吸うタバコの煙を吸ったりすることや、食生活などが、がんのリスクになることを学びました。また、講師は、がんの予防を、火事の話に例えて、火事を起こさないために「火の用心」をするように、がんも「予防・検診」が大事だと、わかりやすく話してくださいました。そして、予防のために児童たちが今からできることの一つとして、なるべくリスクの少ない生活習慣を身につけることが大切だということも話されました。

児童は、タバコを吸う家族のことを気かけたり、自分の食生活のことを振り返ったり、がんを早く見つけるために検診を受けた方が良いことなど、自分や家族が気をつけることを考えていました。

最後に講師から、「人間には寿命があり、いつか終わりがある。命は一回しかないから、命を大切に、楽しく学んでください。」と伝えられました。

感想

Impression

児童より Impression from Children

■がんのことがよくわかりました。

■対策ができることを知り、大人になったら検査を受けて、がんがあったら早く見つけて、最後まで楽しく生きてみたいです。

■がんは予防ができることや、なぜできるのかなども初めて知りました。この学習を忘れないで、生活に気をつけていきたいです。

学校より Impression from school

外部の講師の方によるお話は、児童にとって大変興味深く、意欲的に学習に臨むことができました。具体的な数値で示されたり、視覚的資料が多く、集中して学習できました。

講師より Impression from lecturer

今から、早い時期に、がん予防についての知識を学んでおくことは大切です。「自分には関係ないな」と思わず、今回の授業で学んだことを、大切な人や周りの友だちなどにも教えてほしいと思います。